

## V. 原爆資料センター展示室の改訂

岸 川 正 大

原爆資料センターには玄関を入ってすぐ左に、常設の展示室がある。旧来の展示は昭和61(1986)年、当時の学部3年生(5年生)の有志が手伝って出来上がったものだが、既に9年が過ぎた為かパネルの傷みも目立ち始め、データも少々古くなってきた。そこで、被爆50周年の節目を期に大幅な改訂を行うことが検討され、1月5日の年頭のスタッフ・ミーティングで、展示室改訂に関する第一回目の検討が始まった。

第一回目の検討会の主題は、改訂展示の基本姿勢についてであり、展示は医学的内容とし、「原爆の人体に与える影響をアップ・デイトな学術的データを用いて視覚に訴える」ということになった。また、医科大学教官の遺品や医学的な資料も代表的な物を常設展示とすることになった。そして、今回の改訂のもう一つの基本姿勢としては、20年間位は持ちこたえられるような展示形態と材質を用いるということである。

その後、1～2週間に1回のペースでスタッフ・ミーティングを重ね、7月初旬までに14回を数えた。その間に展示内容を、①挨拶文および原爆のエネルギー等、②急性期障害、③後障害の初期、④後障害後期、⑤疫学、⑥資料コーナー、というようにそれぞれ分担して資料収集、原稿作成をおこなった。玄関を入って正面のロビーに、#①および#⑥の一部を配置することにし、照明も全体的に明るくするような案となった。6月末には80%位の原稿が完了し、予

算も医学同窓会から援助してもらえる見通しがついたので、パネル作成や設営はデザイン・企画の専門の業者に依頼することになった。展示室の床、壁をはじめ大幅な張り替え工事が行われる中で、約1ヶ月後の8月3日の完成を目指し、ほぼ連日の打ち合わせと、資料の正確さを期しての再調査、依頼した英文翻訳の再チェック、パネルの説明文の校正など、展示改訂に忙殺される日々が続いた。

今回の展示パネルの特徴のひとつは、視覚に訴えると言う主旨から対照のとしての「正常の写真」を出来る限り展示した点にある。白血病の血液像や、甲状腺癌の組織像の横に正常の血液像や正常甲状腺の組織像を並べるなど、理解しやすいように配慮したつもりである。展示の内容については、展示室の構成として別表に掲げたとおりである。

8月4日には学部長、原爆資料センター・センター長、原研施設長、医学同窓会会長ほか関係者多数の出席のもとオープニング・セレモニーが挙行された。一部にスペルの間違い等の指摘を早速受け一場面もあったが、展示パネルが大きく視覚に十分に訴えうる配慮と、要約ながらも系統だった展示の内容に、セレモニー参加者からは最大限の評価の声を戴いた。

8月9日を中心とした50周年記念の行事の参加者も、我々の新装になった展示室へも多数足を運んでいただいたようである。

その中で、この展示の内容のパンフレットが欲しいとか、資料のスライドの販売はしていないかとかの問い合わせも相次いだ。スタッフ・ミーティングでも検討していた事でもあり、この展示室改訂の延長線上の企画として位置づけをし、前者は「長崎原子爆弾の医学的影響」としてB5版、26頁のパンフレットとして完成させたし、後者もスライド26枚で1セットとして希望者に分与出来ることになっている。

この年報の別の項で、インターネット発信に付いて記載しているが、本センターに来館出来る者のみならず、インターネット

を通してこの展示室が世界の人々から観覧していただける事は、スタッフ一同の大きな喜びである。

この展示室の改訂には、「長崎大学医学部原爆復興50周年医学同窓記念事業会」による資金援助を一部受けてなされ、資料コーナーではご遺族を初め関係各位に多大なご支援を戴いての完成の運びとなった。これらの援助、ご支援・協力なしには決して成就しなかったものであり、ここに関係各位に深甚の謝意を表したい。

## 展示室の構成 (1)

展示場所	内 容	構 成	数 量
玄関ロビー			
	挨拶文「センター来訪者の皆様へ」		1
	医学部周辺の航空写真 (1948, 1993年)	写真	2
	原爆の物理的影響	グラフ	1
	被害状況同心円地図	地図	1
ロビー陳列ケース			
	被爆した顕微鏡部品, 組織標本等	物品	7
	被爆瓦 (300m)	物品	3
展示室			
	長崎原爆の人体に与える影響 (序文)		1
	原爆による死傷者数	グラフ	1
	原爆による死亡率	グラフ	1
	〈急性期〉		
	急性期症状の頻度	表	1
	熱傷と外傷	写真	2
	被爆状況と熱傷・外傷の頻度	グラフ	1
	肺の病変の組織像	写真	4
	大腸の病変 (臓器)	写真	2
	脱毛	写真	1
	毛根組織の模式図	図	1
	脱毛・出血の出現時期と頻度	グラフ	2
	骨髄の病変 (臓器, 組織)	写真	4
	腎臓の病変 (臓器)	写真	2
	肝臓の病変 (組織)	写真	2
	骨髄の快復期 (組織)	写真	2

## 展示室の構成 (2)

展示場所	内 容	構 成	数 量
展示室	〈後障害初期〉		
	ケロイド	写真	1
	被爆距離とケロイド症例数	グラフ	1
	原爆白内障	写真	1
	原爆白内障模式図		1
	被爆距離と白内障発症頻度	グラフ	1
	染色体異常	写真	1
	被曝線量と異常細胞頻度	グラフ	1
	妊娠分娩経過の異常	グラフ	1
	小頭症	写真	1
	被曝線量と小頭症の例数	表	1
	〈後障害後期〉		
	白血病（血液像）	写真	4
	白血病各病型の粗発生率	グラフ	4
	甲状腺癌（外観，組織像）	写真	3
	被爆時年齢と甲状腺癌相対リスク	グラフ	1
	被曝線量と甲状腺疾患	グラフ	1
	乳癌（外観，組織像）	写真	3
	乳癌粗罹患率と過剰相対リスク	グラフ	1
	胃癌（臓器，組織像）	写真	3
	胃癌模式図		1
	胃癌粗罹患率と過剰相対リスク	グラフ	1
	部位別悪性腫瘍の過剰相対リスク	グラフ	1

### 展示室の構成 (3)

展示場所	内 容	構 成	数 量
展示室			
	〈疫学〉		
	被爆者データベースの模式図		1
	被爆者健診データ表示システムの概要		1
	悪性腫瘍の相対リスク	グラフ	1
	腫瘍以外の相対リスク	グラフ	1
	被爆者健診データ表示システム	ディスプレイ	1
	チェルノブイリ事故と小児甲状腺癌発生率	表	1
展示室陳列ケース			
	〈資料コーナー〉		
	永井隆博士	写真	1
	第11医療隊「原子爆弾救護報告書」		1
	内藤達男博士	写真	1
	被爆遺品（懐中時計，眼鏡ガラス，等）		6
	調 来助博士	写真	1
	原爆被災復興日誌		
	抜歯資料と被曝腺量推定	歯	3
	抜歯資料提供者の被爆地点	地図	1
	血染めの白衣（西森一正 現・名誉教授）		1